

## 2021年度 事業報告

### 1 事業概要

2021年度末の当センターの会員数は、1年間で42人が入会され44人が退会されましたので、結果、2人減って294人となりました。ここ数年の傾向と同様で徐々に減少しています。

この要因として、現役労働者の雇用延長や高齢者雇用安定法の改正により努力義務ではありますが70歳まで就業機会を確保するようになったこと、また、最近の入会相談者は、屋内の事務的な仕事を望まれる方が多く、体力を使う屋外作業は敬遠されがちでそのため入会に踏み切れないことが大きな要因と考えられます。

この結果、60歳代の加入者が減る一方、現会員は年々加齢することから、平均年齢は、昨年の74.7歳より0.2歳上昇し74.9歳となっており、病気・介護・加齢等の事由による退会が大半を占めています。

事業実績として、請負事業は対前年度比で323万円の落ち込みとなりました。この要因としては、新型コロナウイルス感染症の関係でイベントが中止となり、それに伴う請負業務の減少が影響したものと考えられます。

派遣事業は、継続受注により安定していましたが、昨々年度末に一部の大規模商業店舗の改変に伴いその派遣業務が終了となり、その影響で約46万円の落ち込みとなりました。

今回の業績悪化は、新型コロナウイルス感染症によるところもありますが、会員の減少、高齢化による影響も無いとは言い切れません。

こうした運営状況の中、理事を中心とする各常任委員会で、それぞれ所管する業務の重点項目を中心に、課題に対する検討をしました。

特に、女性会員の拡大と新たな事業への取り組みを推進する女性部会は、女性会員活躍特別委員会として自主的権限を拡充し、さらなる事業開拓・会員拡大を目指しました。

また、経理事務においては、金融機関への配分金の振込に際し、その振込額により振込手数料が異なることから個々の会員の方から負担していただくこととしました。

なお、事務所窓口での現金の取り扱いも、金融機関による経費負担の関係で今年度をもって取り扱わないこととしました。

新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響は、大きなものですが、加えて、昨年度末頃からの原油価格高騰による物価の上昇によって、燃料など材料費等に影響が出始めましたので、作業単価の見直しなどを踏まえ、今後、さらに事業実績が落ち込むことも懸念されます。

## 2 実施または計画した主な事業

### ○安全適正就業委員会

#### (1) 安全・適正就業の徹底

##### ①安全就業の徹底

「安全はすべてに優先する」を念頭に、ヘルメットや安全帯などの安全装備の使用を徹底するとともに、新たな安全対策、事故防止器具の啓発に努めました。

会員の安全を目指した先進地視察は、コロナ禍で実施できませんでしたが、事故発生後の再発防止策の周知、安全パトロール・研修（3回実施）などの安全就業に取り組みました。

##### ②適正就業の推進

多くの会員が公平な就業機会が得られるようローテーション化を図りワークシェアリングを進めるとともに、適正就業ガイドラインに沿った請負・派遣事業の説明や有料職業紹介事業も考慮に入れた適正就業の確保に努めました。

#### (2) 交通安全の推進

高齢者による交通事故が増加している中、個々の交通安全に対する意識が高揚するよう交通安全教室を実施しました。

また、道路交通法の改正を受け自動車安全運転管理規定の制定に向け検討しました。

#### (3) 健康・衛生管理の徹底

会員の就業中の熱中症対策として、引き続き熱中症見舞金制度に加入しました。また、新型コロナウイルス感染症予防、健康診断の受診など、会員自身の健康・衛生管理に対する意識啓発や健康講座を実施しました。

### ○事業普及委員会

#### (1) 就業開拓の推進

##### ①就業機会の拡大

高齢者の就業機会の拡大の観点から、愛知県シルバー人材センター連合会が開催する高齢者活躍人材育成確保事業を応援し、多くの方が事業に参加できるよう周知しました。

##### ②普及啓発活動の推進

シルバー事業の理念や事業内容等について広く周知を図るため、高齢者生きがいセンターから離れた3地区（古知野東公民館・布袋ふれあい会館・江南団地集会所）で出張入会説明会を開催しました。

また、シルバーの日の清掃ボランティア（フラワーパーク江南）を催し、広く市民に高齢者の生きがいと地域ニーズの融合に取り組みました。

フラワーパーク江南で開催されたHanaマルシェに出店し、野菜や手作り作品を販売しました。

他のイベントに参加し周知も計画していましたが、コロナ禍で中止となりました。

### ③福祉・家事援助サービス事業の推進

江南市が実施している、できる限り住み慣れた地元で暮らせるようにする「介護予防・日常生活支援総合事業」に、関係機関とも情報共有を図りながら、この総合事業の中の家事援助サービス事業に引き続き取り組みました。

## (2) 独自事業の推進

### ①襖張り替え等独自事業

会員が独自に創出しました、襖・障子・網戸の張り替えに（就業延人数：482人）に取り組みました。

### ②お墓の水洗い・代理焼香事業

女性会員活躍特別委員会が中心となって、お墓の水洗い・代理焼香を立ち上げました。（就業延人数：36人）

また、ふるさと納税品にも取り上げられました。

### ③新たな独自事業の開拓

会員の就労機会を目指し、新たな独自事業を開拓するため、先進地視察を計画していましたが、コロナ禍で中止となりました。

## ○会報宣伝委員会（9月1日から事業普及員会と併合）

### (1) 会報編集等の実施

会員の活躍ぶり、総会など各会議や催しものの状況・雰囲気などが伝えられるよう取材に取り組み、1年間の活動内容がわかりやすく読みやすく目に留まりやすい会報の作成を目指しました。

また、今後利用者が増えていくホームページも新たな情報を掲載するなど情報の発信に努めました。

### (2) アンケート調査の実施

高齢者の就業率の向上を図るため、全会員（292人）対象に、従来の調査内容を見直してアンケート調査を実施し、その結果を全会員にお知らせしました。（回答率：38.4%）

また、お客様の満足度の向上に努めるため、任意に選んだ顧客100名を対象に顧客満足度アンケート調査を実施しました。（回答率：38%）

## ○総務委員会

### (1) 組織体制の充実

#### ①組織、規程等の整備

社会情勢の変化や法律の改正に速やかに対応するため、職員の育児休業及び介護休業など規程等の見直し、職場におけるハラスメントの防止、入会申込書（会員登録申請書）の見直しの検討を行いました。

## ②指定管理の受託

会員の自主的な活動を支援するための高齢者生きがい活動センターの施設管理を市から受け、効率的な指定管理運営に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、アルコール消毒液による除菌、ウェブ会議など引き続き対応しました。

## (2) 会員の資質向上・福利厚生充実

会員やシルバー人材センターに対する期待と信頼性を向上させることを目的とした、また、会員の積極的な事業活動への参加を図るための「ポイント制度」の周知及び交換品を見直しました。

また、先進地視察を計画しましたが、コロナ禍で中止となりました。

## (3) 相談事業の実施

市内高齢者の方の「生きがいづくり」の一助として、雇用・就業に伴う様々な相談を常時施設内で行い、アドバイスをしました。

当センターに入会を希望される方を対象に、随時入会相談を実施しました。（随時相談者 84名）

また、交通弱者など当センターに来所できない方を対象に、出張説明会を古知野東地区（古知野東公民館：参加者なし）、布袋地区（布袋ふれあい会館：参加者なし）、藤ヶ丘地区（藤ヶ丘公民館：参加者なし）、の3か所で実施しました。

## ○配分金検討特別委員会

請負事業によって出される産業廃棄物等の処理費用や労働者の最低賃金を考慮し、これらを作業単価に反映させる配分金等の見直しを検討しました。

## ○女性会員活躍特別委員会 愛称「輝らり」

全国シルバー人材センター事業協会、愛知県シルバー人材センター連合会の方針に沿い女性会員の拡大を目指し、女性会員が生き生きと活躍できる組織体制をつくりました。（女性部会から特別委員会へ）

女性ならではのお仕事・女性が得意とするお仕事の検討や新規事業、教室等の活動に取り組みました。

### 〈取り組み内容〉

- ・お墓の清掃、代理焼香（就業延人数：36人）
- ・スマホ教室 7月（2日間：参加者延べ23人）、11月（2日間：参加者延べ19人）、2月（3日間：参加者延べ16人）